

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年 9月13日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I : 該当なし

区分 II : 該当なし

区分 III : 該当なし

その他: 5 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)電動機において、負荷側軸受の温度が上昇(許容値95℃に対して82.9℃まで上昇)が認められたため、当該ポンプを(B)から(A)に切替後点検・修理。 なお、燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)にて使用済燃料プールの冷却は維持できている。	G III	9月11日
2	1号機	原子炉建屋天井クレーン走行用ブレーキコイルカバーにおいて、カバーに亀裂が認められたため、当該ブレーキコイルカバーを交換。 なお、原子炉建屋天井クレーンの機能に影響はない。	G III	9月12日
3	3号機	OFケーブル洞道排水ポンプ(A)液位検出スイッチにおいて、動作不良(停止位置で自動停止せず)が認められたため、当該液位検出スイッチを点検・修理。 なお、横引管にて隣接する洞道排水ポンプ(B)及び(C)へ移送し排水できるため処理に影響はない。	G III	9月10日
4	サイトバンカ	使用済制御棒移送作業に用いる固体廃棄物移送容器摺動架台において、動作不良(停止位置で自動停止せず)が認められたため、原因調査・対策検討。	G III	9月11日
5	その他	災害対応に備えた発電所構内に配備のブルドーザーにおいて、重機訓練時にエンジンを起動したところ「エンジン系統異常」警報発生が認められたため、当該ブルドーザーを点検・修理。 なお、ホイールローダーが使用可能であるため、災害発生時の対応に影響はない。	G III	9月10日